

# 未来へつながる学びを支援する訪問 報告

## 数学 久喜市立久喜南中学校

実施日 指導案検討 令和7年11月19日（水）  
授業研究会 令和7年11月26日（水）  
訪問者 指導主事 會田 浩

### 指導案検討会

#### ● 単元名

図形の調べ方（第2学年）

#### ● 本時の目標

・星形多角形の内角の和の求め方について、平面図形の性質について学んだことを学習に生かそうとしたり、解決の過程を振り返り、評価・改善したりしようとしている。  
《学びに向かう力、人間性等》

・星形五角形の内角の和の求め方を既習内容を用いて説明することができる。  
《思考力、判断力、表現力等》

#### 《授業者の思い・意図》

新たな問題を自ら見いだせる等の活動を通して、統合的・発展的に考察する態度を身に付けさせたい！

#### ■ 参会者の声

・普段、授業を考える視点とは違った話を聞くことができ、今後の授業を考える上でとても参考になった。（指導案検討会：中学校教諭）

・今までやってきたことや感じてきたことが間違いではなかったと再確認できた。また、新たに取り組みたいことができた。（授業研究会：小学校教諭）

・星形五角形の生徒の生の反応を見て、多様な方法があることで生徒の考えが広がりすぎることや外角を利用する考え方が出にくいことが分かった。自分が授業をする際に参考にしたいと思った。（授業研究会：中学校教諭）

### 授業デザイン改善のPOINT

#### ■ 生徒の実態により、全体で共有する方法やタイミングを変更

「星形五角形の内角の和」を自力やグループで検討した後、全体で共有する場面を設定した。

#### ■ 個に応じた指導の充実

タブレット端末での相互参照、グループでの協働等、個に応じた指導を展開した。

#### ■ 生徒の習熟に応じた授業展開

生徒の課題解決の進み具合を考慮し、全体で解決方法を確認し、理解を確かなものとした。

### 授業研究会

#### ● 生徒の変容や今後の課題

- ◎ 1つの図形から、複数の図形や既習内容の図形を見いだして、考えることができた。
- ◎ 毎時間の学びを振り返る力と次に考えたい問題を設定する力を育むことができた。
- ▲ 見通しのもてない生徒への支援を充実する。グループ学習では、解決できていなくても理解できたところまで説明させる。



全時間の板書を記録し、活用している。

#### ■ 授業者の声

##### ○ 2回の取組を通して学んだこと

全員に共通する問題に取り組ませる場面と個に応じて問題を設定させて取り組ませる場面設定の重要性と困難さが分かった。

単元を貫く問い合わせ意識した授業展開が重要だということを学んだ。

##### ○ 今後に向けて

指導案検討をした上ででの研究授業という形が初めての経験だった。事前に協議することで、教材に対する理解を深めたり、授業展開の方法を考えたりすることができた。事後の取組（レポート課題）に関しても共有して、よりよい単元デザインについて考えていきたいと思う。